

# ばらんす

第26号

編集発行

大田原市総務部企画政策課  
男女共同参画係

〒324-8641

大田原市本町1丁目4番1号

☎ 0287-23-8701

FAX 0287-23-8748

## ～男女共同参画講演会～

1月24日(土)、市総合文化会館ホールで男女共同参画講演会が開催された。この講演会では、『絆2008★輝く未来へ向かって!』と題した第7回大田原市女性の海外研修報告と、フジテレビ奇跡体験アンビリバボー「愛という名の奇跡」で紹介された難病と闘う奥田良子、勝彦さんの音楽家夫妻ESPERANZA(エスペランサ:スペイン語で夢、希望)による『～夢と希望を奏でる～ 女と男の素敵なハーモニー』と題したトーク&コンサートが行われた。

### 二人の支え合いが奇跡のハーモニーに

ESPERANZAのトーク&コンサートは、フルートの豊かな音色と、それを支えるベースギターのシャープな響きで開演した。フルーティストの良子さんは、舞台の照明のなかで笑顔が輝いて見えた。しかし、関西弁で明るく話された難病の発症は、フルートの演奏家を目指し、子どものころからの夢に走っていた大阪音楽大学在学中の事だった。

「ガンバって、ガンバって、身体がボロボロになり、夢を断念していたとき…。大切な一つの出会いがありました。皆さんも、あなたの大切な出会いを思い出してください」と語りかけ(出会いの音楽)が奏でられた。「勝彦さんとの運命的な出会い、そして励まされ、支えられ夢を追って二人で演奏活動を再開した…」こんな感じでトーク&コンサートは進んだ。

演奏は、良子さんのトークの流れに沿って「めぐり逢い」「千の風になって」「涙(なだ)そうそう」「ふるさと」などと、情景が心に滲みる曲々をフルート、陶器と竹製のオカリナで奏でられた。

トークでは、一緒に苦勞を分かち合う様子が明るく語られ



た。勝彦さんが、良子さんの感謝の語りに、ギターを弾き、頷かれる姿が微笑ましかった。

感謝の気持ちを、聞こえる言葉で伝える「言ったつもり」は意味がない、顔を見合って理解し合う。優しい言葉は、二人の間に優しい空気を作ってくれ、素敵なハーモニーが生まれる…。時を忘れ優しさが残る集いであった。

### 海外研修報告

10人のメンバーが福祉・教育・環境・男女共同参画などを、写真・内容をスライドにまとめ分かりやすく報告された。

緊張した面持ちのメンバーから、スイス、フランスの各地を視察し、施設・働く人・利用者の様々な様子が報告され、最後のホームステイでは一つの家族との交流を通し、大切なものを学んだ貴重な体験が語られた。

また、今回は日仏交流150周年を記念した催しでもあり、我が国で初めて日仏語辞書を編纂した佐久山出身の学者、村上英俊との繋がりを広めてこられた事が報告された。



## 共に輝いて生きる

社会福祉法人エルム福祉会のバックアップ施設として、社会就労センターとグループホーム・ケアホームがある。

エルム福祉会は、学校卒業後の障害児の居場所として、故楡井一俊氏によって地域に誕生した。その後、就労センター・グループホームが開所された。

グループホームは、5カ所にあり現在22名が生活している。川上さんは、ホームの地域生活マネージャーである。

利用者はホームでグループの一員として家事を分担し、基本的な生活力を養う。日中は施設や一般の職場で働き、夜はホームで生活する。隣組にも加入し地域の暮らしを体験、地域の人には利用者の姿を知って頂く。

ホームでの生活は、人と人との関わりの中で、思いがけないことが起こる。利用者が素直に対応することばかりではない。マネージャーとして厳しく叱ることもあるが、当事者に関わることで、また幸せを願うこと...というように納得してくれる。利用者一人ひとりが成長する姿を見ると喜びは大きい。

今後は、グループホームだけでなく施設

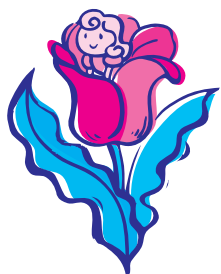
設全体に関わっていききたい。そして近く設立される児童デイサービス（障害児対象）へも手を貸したいとのこと。  
施設長のご主人・そして両親の活動を見ながら成長している二人のお子さんに支えられている。  
人々のため、地域のために、今もそしてこれからも活動していくという川上さんの輝く瞳に、人々への深く大きな愛の心を見る思いだった。



左から2番目が川上聖子さん

## グループホームマ

川上聖子さんと  
共に活躍する平  
登場です。



## すみよし子育て支援センター

最近では1日に約8組の親子が利用しています。  
お弁当を作って持ってくる親子やパパと来る子もいます。  
広いホールで先生が見守る中、好きな遊びをしています。



初めて参加した時、先生が同じ年齢の子どもを紹介してくれたので安心して、すぐにみんなの輪に入れました。

## 一時保育センター

畳敷きの広い部屋にぶらんこ・すべり台・ベビーベット・ぬいぐるみ・ブロック・絵本など遊ぶものがたくさんあります。

ママは歯医者さんにお出かけ！  
7ヶ月と3歳半の兄弟  
先生にだっこしてもらっています。  
先生とお話して遊んでいます。





# シリカ

今回はグル  
ネージャー川  
農村生活改善  
野秀子さんの

## 今日も手作りじいだわって



「今は味噌造り(寒仕込み)の最中で3月末までは毎日フル回転で忙しいです」と話してくれるのは、市内湯津上の平野

秀子さん。

平成9年度に、栃木県ふるさとルネッサンス事業のリーダーとして県から委嘱され、「直売所・くろつぷす侍塚」を仲間と立ち上げた。自分達で育てた農産物をはじめ、たんさん饅頭・こんにやく・味噌等が並ぶ。饅頭は直売所の奥で作っている。

「すべて手作りなので大きさが微妙に違っていたり、皮の間から餡が顔を出しているのが出来上がったらしゅん」といとおしいと思うんですよ」と笑う。

直売所を訪れる人は、都会から温泉に來ると必ず寄ってくれるという人も多いが、近所のお馴染みさんが大多数を占める。買い物済ませた後は、お茶を飲みながらおしゃべりをして楽しい時間を過ごしていく。

平野さんは、なががわ水遊園でも饅頭



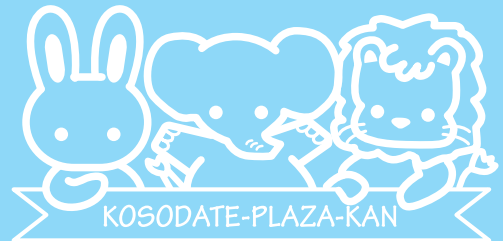
作りを教えている。3月の草餅(蓬も手摘み)・5月は柏餅・釜のふた饅頭と多種にわたる。「材料は米粉が主で、本物の材料ですべて手作り、原始的な作り方になってきている」と話す。

活動の場は直売所の他に、家庭教育オピニオンリーダー・農村生活改善グループ・ひまわり農産加工組合で味噌や一般惣菜作りと、まさにスーパーお母さんの活躍である。

「食への不安の声が多いこの頃だから、手作りにこだわっている。昔は何でも自然の物をとって手作りしたものよ。川魚の甘露煮の仕方はネ…」と平野さんの話はつきない。



## 子育てプラザ館 デビュー しませんか？



昨年10月14日子育て支援の拠点、大田原市子育てプラザ館(旧すみよし保育園)開館。

同館は子育て支援センター(月曜から金曜まで開設、悩みの相談やアドバイス、親子交流などの事業)とファミリーサポートセンターの事務局、一時保育センター(小学校就学前の子供を保育している専業主婦を対象に一時預かり保育)が入り総合的、一体的に子育てを支援する。他に多目的ホール(70m<sup>2</sup>)、広場(会議室)があり、子育てサークルへの貸館(有料)も行う。



《お問い合わせ》 こども課子育て支援係 TEL23-8932



講師：宇都宮文星短期大学教授  
山口 哲子さん



講師：リ ラーニング代表  
秦野 玲子さん

## パーティ出前講座in大田原

11月に大田原市役所東別館において「地域の男女共同参画のススメ」の講座が全3回開かれました。

基本的な事項の講義の後、身近な場面(家事、育児、介護、自治会、職場)での男女格差の問題等を出し合い、解決策を探ったり、具体的にどう行動するか等のワークショップを行い、楽しく学びました。

「まず自分が変わり、楽しみながら、出来ることから始めてみよう」と一歩を踏み出すきっかけとなりました。



## ～働き方を見直そう!～

昨年の11月20日、男女共同参画推進講座「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス(WLB)」の講演が、企業経営者・管理者・一般の市民を交えて職業訓練センター講堂で行われた。

講演会では、内閣府男女共同参画WLB推進委員の富士通総研渥美由喜さんが、最近の研究成果、自身の生活体験を交え、少子化・高齢化が進む社会において、WLBの取り組みが大切である事が語られた。

WLBは「仕事と生活の調和」であるが、エコノミックアニマルと呼ばれ仕事中心で生きてきた我が国の男性諸氏に、人生のあり方を問い直す課題でもあった。



働き盛りの男性の子育て・介護・地域社会参加は、個人の価値観の問題と捉えがちであったが、講演では、

個人の意識改革と共に企業・組織が経営戦略とし、働き方の環境改善を図る事が大切であると強調された。そして、男性の育児・介護休暇制度を取り入れる事で、社員のモチベーションが向上し、生産性、社会的評価、収益が改善した例が多く紹介された。

WLBの普及は相互に「思いやり」を広める働き方、企業では「経営よし、従業員よし、顧客よし」、地域では「行政よし、女性よし、子どもよし」と講演された。

## 交流が育む未来

— 生涯学習フォーラム —

去る2月7日(土)大田原市総合文化会館ホールにおいて“生涯学習フォーラム”が開催されました。

第3部のパネルディスカッションに、大田原市女性の海外研修派遣団「ウイング」の高橋美保子さんが、3人のパネリストの1人として、ウイングの活動状況や今後の活動方向について話をしました。



## 編集委員募集!!

一緒に「ばらんす」をつくりませんか?

「ばらんす」(11月、3月発行)の編集ボランティアを募集しています。  
年齢・性別は問いません。

【連絡先】

大田原市総務部企画政策課  
男女共同参画係 TEL.0287-23-8701

★取り上げて欲しい情報がありましたらお寄せ下さい。

## 編集 後記



難病と闘いながら、たくさんの人たちに美しい音色と話を届けつづける人、食の安全や他人の喜ぶ顔を見る事を生きがいに活動している人。

やはり「春」にふさわしい話題は美しく輝き、小さくてもいいから、自分の花を咲かせることでありたい。そう願う今日この頃である。  
(住吉)

## 編集委員

(五十音順)

- ◆磯 由美子
- ◆栗原 敏子
- ◆佐藤 長子
- ◆鈴木えい子
- ◆住吉すみ子
- ◆谷辺 範夫